

## SGC主催「若草山グリーンキャンペーン2015」参加報告

2015年6月10日  
社会貢献活動委員会  
真砂（記）



恒例の「バンザイ記念撮影」、社友会は、中央最前列に陣取っています。背景のフェンスから上が活動地です。

- 6月7日(日)10時から、奈良・若草山で開催されたシャープグリーンクラブ(SGC)主催の「若草山グリーンキャンペーン2015」に参加しました。
- 当日は、梅雨の合間のさわやかな好天の中、ススキのポット苗の植え込みと、南京ハゼの除伐に良い汗を流しました。
- 参加者数は、総勢321名。社友会からは22名(社友20名・奥様2名)の参加です。
- この企画は、若草山で原生種のススキの草原を守るという「生物多様性保全」を目的にしており、社友会の社会貢献活動の目的と一致することから、毎年積極的に支援しています。
- 特に今回は、より社会的な活動をということで、「フードドライブ」が企画に組み入れられました。



社友会の皆さん。連絡不行き届きで3名の方が漏れました。ご容赦。

- 「フードドライブ」は、家庭の余剰食品を、母子家庭支援組織・DV非難シェルター・障がい者支援団体・児童福祉施設等の社会的弱者支援施設に、命を繋ぐ大切な食糧としてお届けするという有意義な活動です。
- 当日の参加者からは、168点(73.5kg)の善意の食品が、窓口のフードバンク関西に手渡されました。
- 社友会は、来年も若草山グリーンキャンペーンを支援しますので、より一層多くの方が参加されることを期待しています。

■活動風景 若草山一重目は、全体が平均斜度30~35度の斜面ですから、苦あれば楽ありの活動になります。



いざ出陣！ここでは皆元気です。



苦1：会場までの急斜面。氣息奄々。





苦2：腰をかかめてする作業。ゴロ石交じりの固い土を掘り、苗を植え、水をやり、南京ハゼを除伐します。



周りの緑は、今年の山焼きで焼かれた後、再び萌芽したススキで、これまでのSGCの成果です。



楽：作業を終えた後のここからしか見られない景色と談笑。若草山ならではのやりがいを感じるひと時です。

緑に包まれ、眼下の奈良市内の景色を見ながら、共に汗を流した仲間と語らう。若草山の活動の醍醐味です。



会場からの足元の若草山商店街、奈良市内、遥か生駒山系を望む絶景。奈良県庁も大仏殿も足元です。